大阪市立大学Webオープンキャンパス2020

工学部　質問受付への回答

	学科	質問項目	質問内容	回答
1	化学バイオ工学科	学べる内容・授業	(1)化学バイオ工学科は府立大学の応用化学課程や化学工学課程とどう違いますか。 (2)統合後の大学院では、概ね化学バイオ工学科からは旧市大の研究室に、応用化学科、化学工学科からは旧府大の研究室に進むことになりますか。	(1)府立大学の応用化学課程や化学工学課程はそれぞれ専門とする分野（化学または化学工学）に特化して勉強するのに対し、市立大学の化学バイオ工学科は、化学とバイオの両方の分野を学ぶことを特徴としています。 (2)そのような学生が多くなると思います。ただ、大学と大学院は別ですので、大学院に入っても卒業研究を行った研究室でそのまま研究を続けなければいけないという決まりはありません。 従って、自分が希望する研究室が属する専攻の大学院の入学試験を受けて合格すれば、別の学科（専攻）の研究室に入ることも可能です。
2	機械工学科	その他	学部の定員56名→修士36名とのこと。就職で卒業されるから減るのでしょうか。学部生が進級するのも難しいということなのでしょうか。	まず、博士前期課程（修士課程）の定員ですが定員は36人なのですが、例年実際に入学する人数はそれより少し多いです。機械工学科に入学した学部生のうち、大学院に進学するのは7割程度です。残りの3割には4回生卒業時に就職したり、退学したりするものが含まれます。
3	建築学科	学べる内容・授業	工学部の建築学科と生活科学部の居住環境学科のどちらも一級建築士の受験資格が得られると聞いたのですが、カリキュラムが少し異なっているように思います。その違いについて教えて欲しいです。	最も大きな違いは、建築学科では「卒業論文」「卒業設計」をともに必修科目としているところです。理論も実践も、どちらも大切にしています。居住環境学科ではどちらかの選択になっています。居住環境学科は、生活科学部が「衣食住」を扱う「家政学部」に源流を持つことからもわかるように、住宅を中心としたカリキュラムを組んでいます。「人間工学」「生活機器学」「色彩学」などのインテリアデザインに関する科目や、「居住福祉工学」などの福祉に関する科目など、建築学科にはない科目があります。一方、建築学科はモノづくりの工学部に所属しているので、「鉄筋コンクリート構造学」「鋼構造学」「木造建築論」「建築構造材料実験」「振動工学」など、ハード・ソフトで分類するならば、ハードよりの構造系・材料系の科目の教育が充実しています。似ているようでカリキュラムの考え方や方針は異なります。
4	工学部全体	学べる内容・授業	ロボットについて学びたいのですが、機械工学科と電子情報工学科のどちらが適していますか？知能を持ったロボットではなく、設定した通りに動くようなロボットに興味があります。	志望される内容については、機械工学科、電気情報工学科のいずれでも学ぶことができますが、ご自身がどのような部分により興味があるかによって志望する学科を選択するのがよいでしょう。 例えばより正確にパワフルに動かす、画期的なパーツを作るといったロボットそのものの能力を上げることに興味があるのであれば、機械の構造や駆動部分について学ぶことができる機械工学科が適しています、一方でさまざまな条件や予期しないような現象に対してもきちんと動作させる、より自由にロボットを動かしたい、といったことを考えるのであれば、情報を分析して機械を制御することを学ぶ電気情報工学科が適しています。 新大学では電気情報工学科のロボット関係の研究室は「電気電子システム工学科」の所属となり、一方で、現在の機械工学科のロボット関係の研究室は、新しい「機械工学科」の所属となる予定です。